



でいのせしサロン ～生活に役立つ、仕事に役立つエネルギー勉強会～



5月22日、株式会社ディノス・セシールが新たに始めた取り組み「でいのせしサロン」の第1回目の講師を、そらべあ基金の古山が務めました。

「でいのせしサロン」とは、社員が気軽にCSRや環境問題について考える機会を提供しようと設けられた、ランチを食べながら参加ができる勉強会です。

初回のテーマは「生活に役立つ、仕事に役立つエネルギー勉強会」。エネルギーに関しての知識をクイズ形式で学ぶことにより、家庭で省エネ術として活用できることはもちろん、商品開発や宣伝活動、消費者対策など、仕事にも役立つことができる内容にしました。

例えば、ほとんどの家庭に1台はあり、家庭で消費電力の割合が1番多い冷蔵庫。10年前の製品と

最新の製品を比較すると、消費電力を約1/3に節約できます。*

古い冷蔵庫を使い続けている社員の方からは驚きの声が上がリ、また、実際に最新の冷蔵庫へ買い替えた経験のある参加者からは、「前後の電気料金の差を実感している」という声もあがりました。

このように、よく使う家電製品については、最新のものに買い替えるほうが、電気代やCO₂の削減など、より高い費用対効果を得ることができます。購入時・使用時のことだけでなく、ライフサイクル(モノの一生)全体を見て考える——これって家庭でも仕事でも活かせそうな考え方ですね。

ご参加いただいたディノス・セシールのみなさま、ありがとうございました!

※出展：省エネ性能カタログ2015年夏版／経済産業省資源エネルギー庁



も ん だ い

家庭用球の温電暖気化代(一般家庭ガス併用型住宅)では2000年からどれくらいの電気代が上がっているのでしょうか?

A	B	C
8%	20%	28%



そらべあ基金事務局的つぶやき



そらべあサポーターズクラブのみなさま、はじめまして。そらべあ基金事務局の古山まどかです。今号のレポートでもお伝えしましたとおり、4月末、そらべあ基金スタッフは、「YOU鐘木保育園」の記念式典で新潟県新潟市を訪れました。その際、同市内にある「株式会社サンバーストにいがた」を訪問しました。

サンバーストにいがたとは、障がいのある方の雇用創出を目的に、さまざまな企業の出資によって設立された会社です。主に、名刺や封筒などの印刷物、印鑑・ゴム印作り、福祉用品の販売・レンタルなどの事業を展開されています。実は、そらべあ基金の名刺はここで作っていただいているのです。今回初めて訪問した私は、名刺と印鑑づくりの工程を目の前で体験することができました。

印鑑づくりを見たのは人生で初めてでしたが、あまりに細かい作業に驚かされました。基本的には機械で作りますが、最終的な細かい調整はスタッフの方の手作業なのです。一つひとついいにチェックし、少しでもズレたら再びやり直し……。想像以上に根気のいる作業です。普段見慣れた私の名刺も、実際に目の前で刷っていただきました。こうしてみなさんが一生懸命作業されているのを見ると、1枚の名刺も特別に感じるようになり、一層愛着が湧きますね!

そらべあサポーターズクラブ

- プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)
- オフィシャルサポーター：ソニー生命保険(株)、ソニーマーケティング(株)
- サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社、KDDI(株)
- 応援団：9社
- 個人・ファミリーサポーター：58名 (2015年7月30日現在)

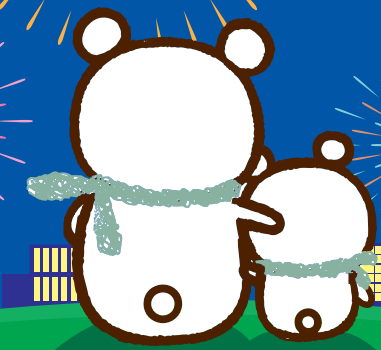
読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



そらべあ 便り

Sorabear Newsletter | Vol.23

エネルギーを
気軽に学ぼう、
考えよう



www.solarbear.jp

©Shinzi Katoh

そらべあ便り vol.23

2015年7月発行
編集：加藤聡
NPO 法人そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋2-5-6
大村ビル8F
TEL：03-3504-8166
FAX：03-5157-3178
http://www.solarbear.jp

REPORT

そらべあスマイルプロジェクト そらべあ発電所寄贈記念式典50基達成!

4月から5月にかけて、そらべあ基金が訪れたのは、福岡県北九州市の「木屋瀬保育園」、和歌山県和歌山市の「みちる保育園」、新潟県新潟市の「YOU鐘木保育園」、そして岐阜県御嵩町が運営する「子育て支援センターぼっぼかん」の4ヶ所。寄贈記念式典は太陽光発電設備の完成をお祝いする会であるとともに、子どもたちに環境問題やエネルギーについて関心を持ってもらう大切な機会です。

す。ホッキョクグマの兄弟「そら」と「べあ」と一緒に、環境教育に取り組みます。

「木屋瀬保育園」「みちる保育園」「YOU鐘木保育園」の3園では、「そら」と「べあ」の物語の紙芝居やクイズを通じて環境問題をみんなで考えました。内容は少し難しかったものの、子どもたちでもできるエコアクション「節電」「節水」「物を大切にす」をキーワードに、楽しくお話をしました。

「子育て支援センターぼっぼかん」では、おもな施設利用者が未就園児とその保護者(特にお母さん)であることから、家庭でできるエコアクションや、町にある身近な資源に関する情報をクイズに盛り込みました。

再生可能エネルギーの創出と、子どもたちに環境の大切さを学んでもらうことを目的に、2008年开始された「そらべあスマイルプロジェクト」。そ

して今回、新たに4ヶ所の保育園、子育て支援施設にそらべあ発電所が設置され、寄贈した発電所の数は50基を超えました。そらべあ基金では、これからも全国の幼稚園・保育園に再生可能エネルギーの輪を広げていきます。



4/24

和歌山県和歌山市「みちる保育園」

協賛:ソニー損保



4/28

新潟県新潟市「YOU鐘木保育園」

協賛:ソニー生命



4/20

福岡県北九州市「木屋瀬保育園」

協賛:ソニー



5/15

岐阜県御嵩町「子育て支援センターぼっぼかん」

協賛:ソニーマーケティング



REPORT

太陽光発電でアニメを見る! 「学びのフェス2015春」

3月28日、そらべあ基金は「学びのフェス2015春」にブース出展し、ミニ太陽光発電キットの組み立てワークショップを実施しました。

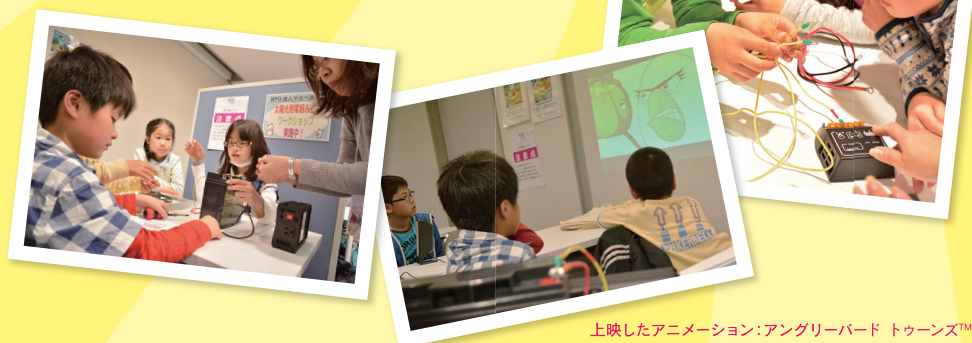
「学びのフェス」は毎日新聞&毎日小学生新聞&毎日メディアカフェ主催による小学生向けイベント。約20の企業・団体による出前授業やワークショップが行われ、会場となった毎日新聞東京本社は、多くの親子で賑わいました。

ワークショップは、ソニー・ピクチャーズエンタテインメントとのコラボレーションのもと実施。子どもたちが組み立てた太陽光発電キットで発電した電気を使い、同社のアニメーション「アンگریバード」の上映を行ないました。

キットとして用意されたのは20ワットの太陽光パネルとバッテリー、チャージコントローラー、イン

バーター、そして2種類のケーブル。これらの機器を、プラスドライバーを使って接続していきます。この日は屋内イベントのため、残念ながらパネルに太陽光が当たることはありませんでしたが、蛍光灯の光でも「発電中」を意味する「Charge」ランプの点灯を確認することができました。完成した太陽光発電キット2基に、プロジェクターとパソコンをつなぐと、見事にスイッチオン!無事、アニメを見ることができました。

子どもたちからは、「自分で作った電気でアニメが見られて面白かった」「うちのテレビも太陽光発電で見てみたい」といった感想が寄せられ、電気を作ることの身近さを感じてもらうことができました。



上映したアニメーション:アンگریバード トゥーンズ™



©Shinzi Katoh

7

8

9

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		